

家庭学習の手引き 保護者用

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにもとても大切なものです。

小学校のうちに机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身に付けさせましょう。

1 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせてください。
(5・6年生には自分で考えさせてもいいでしょう。)
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきなど何でも構いませんので必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

2 時間のめやす

- ・ 低学年 15分から20分以上
- ・ 中学年 30分から40分以上
- ・ 高学年 50分から60分以上

3 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

② 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③ 見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。褒めたり励ましたりしてあげることで、お子さんはどんどんやる気を出します。

1週間に1回、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけいっしょに取り組んでくださるようお願いします。

④ 学校との連携

お子さんの学習の様子を担任にお知らせください。

か てい がくしゅう て び

家庭学習の手引き

ねん せい よう

1年生用

とくしま し じょうとうしょうがっこう

徳島市城東小学校

かていがくしゅうのてびき 1ねんせいよう

1 かていがくしゅうをするときには

- ① 20ふんいじょう がくしゅうしましょう。
- ② はじめに、がっこうのしゅくだいをしましょう。
- ③ じかんがあまったり、もっとがんばりたいときは、2のなかからえらんでやりましょう。
- ④ テレビはけして、がくしゅうしましょう。
- ⑤ がくしゅうがおわったら、れんらくちょうをみて、あしたのがっこうのじゅんびをしましょう。

2 しゅくだいのほかに、こんながくしゅうをしてみよう。

- ① きょうの じゅぎょうで べんきょうしたことの おさらいをしましょう。
- ② きょうかじょのぶんしょうを はっきりしたこえで ただしくすらすらと よめるように れんしゅうしましょう。
- ③ ひらがな・かたかな・かんじのれんしゅうをしましょう。
- ④ けいさんのれんしゅうをしましょう。
- ⑤ テストやプリントでまちがえたところを、ノートにただしくなおしてかいてみましょう。
- ⑥ ほんを たくさんよみましょう。

きょうかごとの べんきょうのしかた

- | | |
|-------------|--|
| こ
く
ご | <ol style="list-style-type: none"> ① ほんよみは、すらすらよめるように、こえにだしてれんしゅうする。
(ただしくよめたか、おうちのひとにきいてもらい、れんらくちょうにサインしてもらおう。) ② ただしく ていねいに ししやする。 ③ かんじのれんしゅうをする。
・かくすうをこえにだしながら かきじゅんにきをつける。
・おぼえるまで くりかえしやる。 |
|-------------|--|

こ く ご	<ol style="list-style-type: none"> ④ ことばあつめをする。 ・ちいさい「や」「ゆ」「よ」「つ」のつくことば ・「ド」「P」のつくことば ・かんじでなかまあつめ ⑤ みじかいぶんをつくってかく。 ・ならったかんじや ことばをつかう。 ・しやさくぶんをかく。 ⑥ きょうかじょの「てびき」をする。
さ ん す う	<ol style="list-style-type: none"> ① べんきょうしたことを ふくしゅうする。 ② きょうかじょや もんだいしゅうを うつしてとく。 ③ けいさんは、せいかくにはやく できるようにれんしゅうする。 ④ じぶんで もんだいをつくって ノートにかく。 ⑤ まちがえたもんだいを といてみる。
せ い か つ	<ol style="list-style-type: none"> ① わたしたちのまわりの はなやむしをかんさつし、まとめる。 ② きがついたこと、かんじたことを ノートにまとめる。 ③ じぶんがそだてた いきものの かんさつをする。 (はな・やさい・むし など) ④ ずかんなどをしらべて、わかったことをかく。 ⑤ はたらく人のようすをしらべて、ノートにかく。 ⑥ はたらく人に、はなしをきいてまとめる。
お ん が く	<ol style="list-style-type: none"> ① かしをただしくおぼえ、きれいなこえでうたう。 ② きょくのリズムやかいめいをおぼえる。 ③ けんぱんハーモニカのれんしゅうをする。 ④ いろいろなおんがくをきく。 (CD [シーディー] やテレビ、なまえんそうなど)
そ の た	<ol style="list-style-type: none"> ① どくしょして、かんそうをかく。 ② いえにあるもんだいしゅうをする。 ③ なわとびやてつぼうなどで、たいりよくづくりに チャレンジする。
に っ き	<ol style="list-style-type: none"> ① みつけたことを かきましょう。 (てんきやそらのこと、くさばなやむしのこと、はたらいているひとのこと など) ② じぶんがしたことを ふりかえりましょう。 ・がっこうでしたことを おもいだしましょう。 (おうちのひとに おしえたいこと) ・おでかけしたこと、ともだちとあそんだこと (せんせいにおしえたいこと) ③ そのときの じぶんのきもちもかきましょう。 ④ ばしよや じかんも わすれずにかきましょう。